

平成30年度 宮城県南郷高等学校「学校経営方針」

目指す
生徒像

教育目標 教育基本法及び宮城県教育基本方針に基づき、「礼譲和協」の校訓にふさわしく、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。

校 訓



礼 譲 和 協

礼：高い規範意識を持ち礼儀作法を重んじ、敬意をもって接する人となる。
譲：相手の立場に立って物事を考え行動する人となる。
和：友情を育み、健全な人間関係を築く人となる。
協：仲間を助け支え合うことで、自らを高めていく人となる。

教育方針	経営方針	学科目標
1. 生涯にわたり自ら学ぶ意欲・関心の喚起、またその態度の育成のための、基礎基本を重視した学習指導を行う。 2. 個性の伸長と心豊かな人間性の涵養のためのきめ細かな生活指導を行う。 3. 地域社会に貢献できる基礎的専門知識・技能を持った人材を育成する。	学校教育目標及び重点目標を達成するために、以下の方針で平成30年度の学校運営を行うこととする。 1. 志教育を推進する学校づくり 2. 特色と魅力ある学校づくり 3. いのちを大切にする学校づくり 4. 地域とつながる学校づくり	普通科 生徒一人ひとりの能力や適性に応じ、基礎的・基本的な知識を習得させ社会人として必要な能力と態度を育てる。 産業技術科 産業社会の農業・工業・商業等に関する基礎的・基本的な知識と技術を修得させ、これらの業務に従事する職業人として必要な能力と態度を育てる。

学校重点目標			
個に応じたキャリア教育の実践と希望進路実現	魅力ある授業の推進による基礎学力の定着・向上	奉仕の精神を軸とした、豊かな人間性の育成	地域に根ざし、開かれた学校づくりと生徒数の安定確保
1. 志教育を推進し、第一希望の進路を達成できるよう支援する。 2. 進路適性を多角的に把握させ、進路目標の早期決定と希望進路の実現を計画的・組織的に指導し、支援する。 3. 生徒ひとりひとりの特性に応じたキャリア教育を実践し、社会的自立を支援する。	1. 授業の質を向上させ、学習の習慣化を図り、基礎学力の定着を図る。 2. 生徒個々の学力に応じて発展的な学習や学び直しの学習の指導を行い、学力の向上を図る。 3. タブレット端末を活用したICT教育を推進し、学ぶ喜びを実感できる授業を推進する。	1. 授業や部活動、また生徒会や農くの諸活動を通じて、互いに学び合い、助け合う人間関係の構築とコミュニケーション能力の育成を図る。 2. フラワーサービスプロジェクトや震災復興支援等のボランティア活動を学校あげて推進し、奉仕の精神を養う。 3. 部活動を活性化し、礼節を重んじる心と粘り強く生き抜く力を育てる。	1. 学校通信などにより積極的に情報公開し、一層地域に開かれた学校を目指す。 2. 家庭や地域と連携し、防災教育・安全教育を推進する。 3. フラワーサービスプロジェクトやICT教育、教育講演会等を活用し、学校の特色と魅力を積極的にPRする。

実践項目			
1. 進路目標実現に向けた進路講話やガイダンスの実施 2. インターンシップの実施 3. 低学年からの大学・専門学校見学会、模擬講義、会社見学会の実施 4. 就職支援担当教員等による積極的な進路相談や丁寧な模擬面接指導 5. オープンキャンパスや会社訪問、就職面接会への積極的な参加 6. 進路通信による情報提供 7. 資格取得の奨励 8. 「魅力ある県立高校づくり」の積極的活用	1. 習熟度別授業展開による丁寧な指導 2. 週末及び長期休業中の課題による家庭学習の習慣化 3. 実力テストの実施と分析による授業の改善 4. 基礎力診断テストの有効活用による基礎学力向上 5. 校内研修の充実、研究授業の実施 6. 授業公開の積極的実施 7. 授業時間の確保 8. 進学・就職課外講習 9. タブレット端末を活用したICT教育の積極的推進	1. みやぎ高校生マナーアップ運動の組織的な推進 2. 家庭と連携し、欠席、遅刻、無断早退の防止指導 3. 生徒会や農業クラブ活動の活性化 4. フラワーサービスプロジェクト等のボランティア活動の推進 5. 部活動の活性化 6. 各種講話（交通安全行事、薬物乱用防止、ネット被害未然防止、性教育等）の実施 7. 教育相談活動の充実	1. PTA、同窓会、地域社会との連携強化 2. 学校公開・授業公開の実施、学校図書館の開放 3. 学校評議員制度活用と学校評価による改善 4. 学校通信の発行・ホームページの充実による広報活動の推進 5. 学校説明会の充実、中学校との連携強化 6. 地域主催行事への積極的参加、協力 7. 生命と安全確保を第一とし、地域との絆を重視した防災教育の推進 8. 教育講演会の一般公開 9. 中学校訪問の積極的実施（オール南郷体制） 10. 志教育推進事業(指定校)

教職員の資質・能力・力量の向上

変化の激しい現代社会にあって、我々教職員の職務は、未来をたくましく担う生徒の育成に全力を注ぐことである。教育の不易の部分をしっかりと見据えた上で、改めるべきところは改め、資質・能力・力量の向上に不断に努める必要がある。
(校内研究授業の実施・職員研修会の実施・OJTによる教職経験の少ない教員の育成・共通理解に基づいた協働体制整備)

1 学級経営力 2 学習指導力 3 生活指導力 4 研究・修養 5 校務処理力 6 部活動指導力